2026年11月11日

各　　位

会　社　名　　株式会社Synspective
代表者名　　代表取締役CEO　　新　井　元　行
（コード番号：290A　東証グロース）
問合せ先　　取締役CFO　　志　藤　　篤
(ir@synspective.com)

Firefly Aerospace社との最大10回のマルチローンチ契約締結に関するお知らせ

当社は、2026年11月10日開催の取締役会において、米Firefly Aerospace社（本社：アメリカ合衆国テキサス州、CEO：Jason Kim）とマルチローンチ契約を締結することを決議し、同日契約を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、本契約に基づき、同社の「Alpha（アルファ）」ロケットによる専用打上げを、2030年までに最大10回実施します。各ミッションでは、当社StriX衛星を２機ずつ搭載し、本契約期間を通じて最大20機を軌道投入する予定です。１ミッションにつき２機の衛星を打ち上げることで、１機ずつ打上げる場合と比較し、１回の打上げで軌道投入できる数が２倍となり、衛星コンステレーションの構築スピードが向上します。

打上げは、バージニア州のワロップス飛行施設（Pad-0A）と、カリフォルニア州ヴァンデンバーグ宇宙軍基地の第２宇宙発射施設（SLC-2）の両方から実施します。東西両海岸の射場を活用することで、既存の打上げ契約に加えて、コンステレーションの構築に向けて、多様な軌道傾斜角へ柔軟にアクセスすることが可能になります。

当社は、2026年11月10日（日本時間）に当社ウェブサイト上での情報発信を実施した上で、本文を公開しております。詳細につきましては、下記ニュースリリースをご参照ください。

Synspective、Firefly Aerospaceと最大10回のマルチローンチ契約を締結
～2030年までにStriX衛星を最大20機軌道へ～
https://www.synspective.com/jp/news/firefly_mla/

(今後の見通し)

本件は、将来の衛星打上げに関する合意であり、2026年２月13日に開示いたしました2026年12月期通期の業績予想に与える影響はございません。

打上げ関連の最新情報につきましては、随時プレスリリースおよび決算資料にてご報告いたします。

以　上